

小麦由来の健康成分で強さを引き出す

小麦発酵
抽出物
含有混合飼料

パントエア-6

パントエア-6は、小麦に共生する“パントエア菌”の発酵培養物から抽出した小麦発酵抽出物を含む混合飼料です。パントエア菌が持つLPS(糖脂質)は、生体内のマクロファージを活性化することがわかっており、パントエア-6は家畜の健康維持をめざして開発しました。



家畜の健康を中からサポート

ご存知
ですか？

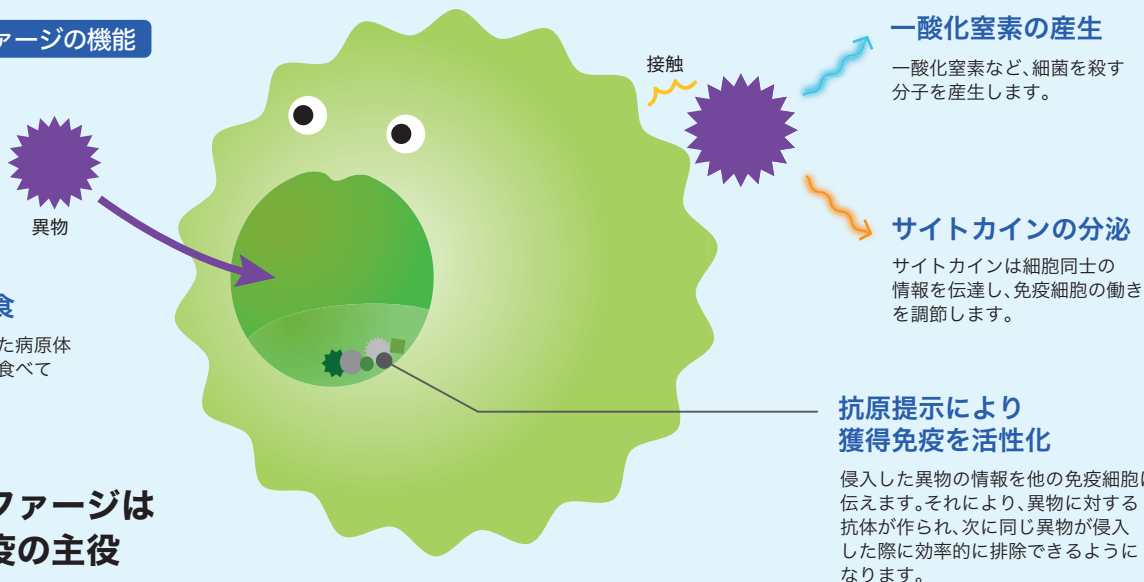
健康を中から守るマクロファージ

マクロファージの機能

異物の貪食

体内に侵入した病原体などの異物を食べて破壊します。

マクロファージは
自然免疫の主役



LPS とマクロファージの関係とは？ 詳しくは裏面へ▶

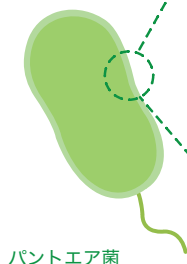
パントエア菌 LPS の働き

小麦発酵抽出物の生理活性物質は、パントエア菌の LPS です。

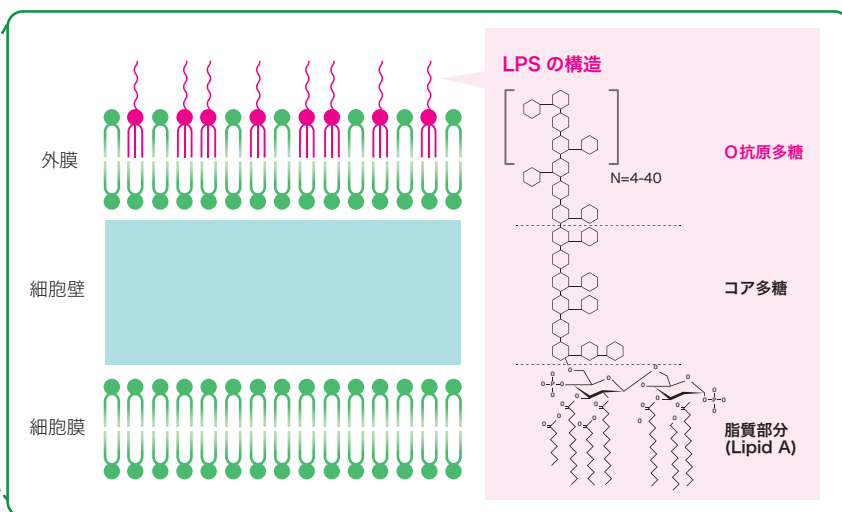
▶ LPS (糖脂質) とは？

糖と脂質が繋がった物質で、パントエア菌をはじめとするグラム陰性細菌の細胞壁を構成しています。英名のリポポリサッカライドを略してLPSと呼ばれます。

なお、パントエア菌のLPSはO抗原多糖がラムノースとグルコースからなる珍しいタイプで、分子量約5,000という比較的低分子のLPSが主体となっています。



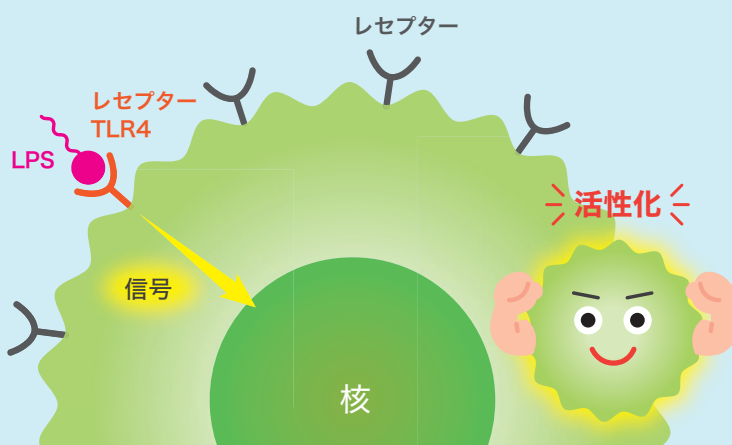
パントエア菌



LPS はマクロファージの核にある遺伝子に働きかけます

マクロファージの細胞表面には、外来異物に対する様々なレセプター(受容体)があり、免疫の発動に重要な作用を担っています。

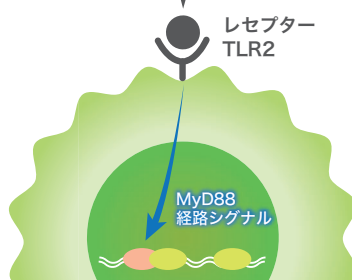
パントエア菌のLPSはレセプターの一つであるTLR4と結合します。それによりマクロファージの細胞の奥に信号が送られ、核の中にある遺伝子が反応してマクロファージが活性化します。



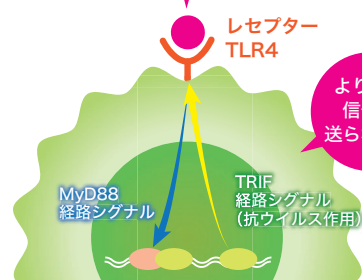
他の免疫活性物質との違い

マクロファージを活性化させる物質では、他にβグルカンやペプチドグリカンが知られています。これらはTLR4とは異なるTLR2というレセプターと結合します。TLR2から信号を送る経路が1経路なのに対し、TLR4は2経路あり、活性化における優位性につながっています。

βグルカン(キノコ、酵母)
ペプチドグリカン(乳酸菌)の場合



LPS(パントエア菌)の場合



より多く
信号が
送られます

商品名 小麦発酵抽出物含有混合飼料 **パントエア-6**

原材料名 小麦発酵抽出物、デキストリン、米ぬか油かす

包装 20kg 紙袋

使用上の注意

【取扱上の注意】開封後は、速やかにご使用下さい。

【保管上の注意】(1)高温多湿、直射日光を避け保管して下さい。(2)目的以外の用途で使用しないで下さい。

【製造・販売元】



コーキン化学株式会社

<https://www.kohjin.co.jp/>

本社 TEL 072-988-2501 FAX 072-988-2130
東京事業所 TEL 03-5259-5681 FAX 03-3291-4341
鹿児島事業所 TEL 0986-28-8105 FAX 0986-28-8131

